

高等部 3年 社会科 指導案(略案)

日時：令和4年9月

場所：大平特別支援学校 理科室

対象生徒：高等部3年

授業者：仲間 貴志

担当主事：朝倉 康介

I 研究テーマ

学びに向かう力を育む教科別の指導の工夫

— 生活場面に即し成功体験を重ねる社会科の指導を土台として —

II 単元の指導目標・評価規準・指導内容(高等部2段階)

単元名①【公共施設の役割】

	単元・題材の目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材の活動 内容	(教科等横断 的視点)
単元ご との指 導計 画に おけ る項 目	(知及技) 地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。(公共施設の役割(ア)㉑) (思判表力) 地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を行うことができる。(公共施設の役割(ア)㉒) (学・人) 公共施設や公共物の必要性を知るとともに、自らの生活に活用しようとする。(高2段階)	【Aグループ】 (知・技)空港や飛行機・バスの役割とその必要性について理解している (思・判・表)航空便の確認、飛行機・バスの利用方法などを調べ、活用している。 (主学)公共施設や公共物の必要性、利用方法を知り、生活に活用しようとしている。	公共交通機関や移動の仕方を調べる。利用する。修学旅行の事前学習を通して、空港の利用や飛行機・バスの搭乗について調べる。旅行先での公共機関を利用する。事後学習を通して、公共物の活用について感想をまとめる。	国語(A 聞くこと・話すこと)(B 書くこと) 情報(ネットワークとデータの活用)
		【Bグループ】 (知・技)修学旅行で利用する空港や飛行機・バスの役割について理解している。 (思・判・表)修学旅行で正しく飛行機・バスを利用している。		

単元名②【我が国の国土の様子と国民生活】(高等部1段階)

	単元・題材の目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材の活動 内容	(教科等横断的 視点)
単元ご との指 導計 画に おけ る項 目	(知及技) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。(高1段階 我が国の国土の様子と国民生活(ア)㉑) (思判表力) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することができる。(高1段階 我が国の国土の様子と国民生活(ア)㉒)	【Aグループ】 (知・技) 日本の地形や気候の概要を理解するとともに、都道府県の地理的環境と人々の生活に関して知識を深めている。 (思・判・表) 特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、白地図ワークなどに取り組んでいる。	修学旅行の事前学習を通して、沖縄県と東京都・千葉県(関東地域)の位置や距離などを学ぶ。 東京都・千葉県の地域についての情報を調べる。 事後学習を通して、旅の思い出、現地の様子について感想をまとめる。	国語(A 聞くこと・話すこと)(B 書くこと) 情報(ネットワークとデータの活用) 理科(天気の変化)
		【Bグループ】 (知・技) 修学旅行で訪れる関東地域について、位置や特色を理解している。 (思・判・表) 修学旅行先で訪れる県外の地域の雰囲気を感じ、自県との違いを考え、感想を述べている。		

Ⅲ 指導計画・評価計画

時間	指導項目	学習活動	評価の観点			備考
			知・技	思・判・表	主学	
1(7/8)	空港・旅客機について (公共施設・公共物)	空港の場所・搭乗の仕方	○			
2(7/15)	空港見学	観察・搭乗手順の確認	○	○		
3(9/9)	事前学習①(本時)	旅行先の関東について	○	○		
4(9/16)	事前学習②	旅程確認・旅行のテーマを考える				
5(9/30)	事後学習①	体験レポート作成		○	○	
6(10/14)	事後学習②	お互いのレポート鑑賞・評価		○	○	

Ⅳ 本時の授業の展開

(3時 9月9日)事前学習① 旅行予定地について(地理的事象・ICT活用)

時間	学習内容・教師の声かけ	指導内容	★指導のポイント★
導入 10:50 ～	「皆さんが修学旅行で訪れるのは、都道府県でいうとどこかわかりますか？」	既習の「羽田空港」は東京都にあり、宿泊・ディズニーランドは千葉県にある、という事項を再確認する。	★②Google マップを活用し、沖縄から関東への移動について意識を高める。
展開① 10:55 ～	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシートを配布する。 ●関東地方(東京・千葉)について(プリント学習) ●訪れる都道府県名を確認しよう。 ●距離の確認 沖縄から飛行機でどれぐらいかかるか ●日没時間の確認 沖縄と東京で日没時間に違いはあるか ●気温の確認 9月の平均気温に違いは見られるか ●天気の確認 沖縄と東京の現在の天気に違いはあるか ●解答を行う 	説明にそって穴埋め問題を解いてもらう。 生徒自身が自分のiPadを使用し調べてくれることを補助する。	★①iPadを利用して実際のHPをチェックする。 ★①google アースのアプリケーションで羽田空港・ホテル・ディズニーランドの3Dモデルを確認。
展開② 11:25～	<p>「旅行先で行うことを考えよう」(事後学習素材集め)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サンプルを紹介し、いくつか提案する。 ●現地でGoogleマップを活用し、自分がいる場所を表示して画面のスクリーンショットを撮る。 ●スマホで現地の天気予報を確認する(天候・気温)スクリーンショット。 ●訪れた場所のパンフレットをもらってくる。 	旅行後にそれぞれの思い出を形にするため、旅行先で取り組むことの内容を一緒に考える。 旅行中のストレスや負担にならないよう、生徒自身が可能な課題を設定する。	★②完成したレポートはお互いに発表したり校内展示や保護者に見てもらったりし、2年生の修学旅行の事前学習の教材にもなることを説明する。
まとめ 11:35～	「次回の授業は、今日の続きで修学旅行先で何を行うかを決めたいと思います」 ※今週末の県知事選挙についても触れる	1週間の期間をもうけ、修学旅行で取り組みたいことを考える時間とする。	

V 本時以降の指導内容(略案)

(4時間目 9月19日)事前学習② 思い出の〇〇作りの準備(ICT活用)

時間	学習内容・教師の声かけ	指導内容	★指導のポイント★
導入 10:50 ～	「三日後にせまった修学旅行それぞれの取り組みたいテーマは決まりましたか。」	前回の学習の振り返り、旅程の再確認など。	★①直前にせまった修学旅行の雰囲気をも高める
展開 10:55～	具体的な「体験レポート作成」の準備 アイパッドやスクラップなど写真張り付けの直前までなるべく仕上げておく。	一人ひとりの「取り組みたいものシート」に記入 練習用テンプレートなどを利用し、事後学習がスムーズになるよう生徒の活動を補助する。	★②生徒自身が課題を選ぶ場面を設定することで、活動に対する動機付けが高まる。
まとめ 11:35～	「それでは気を付けて修学旅行を楽しんでいってらっしゃい。引率の先生の協力も得ながら課題に取り組んでください。」 「次回の授業で、修学旅行先の話の振り返ります」	事後学習でどんなレポートを作るか意識させて、本時をまとめる。	★②レポートを通して後で旅行の様子を皆に教えてほしいことを強調し、教師からの期待を伝える。

(5時間目 9月30日)事後学習 思い出の〇〇作り(ICT活用)

時間	学習内容・教師の声かけ	指導内容	★指導のポイント★
導入 10:50 ～	「修学旅行はどうでしたか。」 「写真やパンフレットは集まりましたか」	2週間前の旅行内容の確認など行い、雰囲気を出してもらう。	★①話したい様子があれば、自由に発言できるような場にする。
展開 10:55 ～	思い出の〇〇作り 一人ひとりの「取り組みたいものシート」をもとにレポートを仕上げる。	スクラップづくりなどを行う生徒の場合は前もって担任から写真データを受け取り、プリントアウトまで済ませておく。 個別に生徒の作成状況を確認し、作成の補助を行う。	★②旅行に行っていない職員や後輩に楽しさが伝わるようなレポートづくりを提案する。
まとめ 11:45～	「完成したものは、次回10月14日の授業で発表してもらいますので、そのつもりでよろしくお願ひします」	レポートは学部室の多目的エリアや運動会の日に残したり、展示したりする旨を伝える。	★②展示ブースには、見た人が「いいね」を残すことができるよう、シール台帳を設置し、多数の好評価を受けることが自信につながる仕組みを用意。

(6時間目 10月14日)事後学習(発表会)

時間	学習内容・教師の声かけ	指導内容	★指導のポイント★
導入 10:50～	「レポート展示の反響はありましたか」	レポート展示の反響について話をする。	★②展示ブースの「いいね」シール台帳の数などを発表し、取り組みが注目を浴びていることを伝える。
展開 11:00 ～	一人ひとりのレポートについて、発表をしてもらう。 ・テーマを選んだ理由や、旅行で思い出に残ったこと・反響があったことへの反応 ・自分のレポートの出来具合 ・単元の感想など	・お互いの発表を静かに聞いて、よいと思ったところなど、感想シートに記入する。	★②発表内容をお互いに認め合うことから、承認されている実感を得る活動。
まとめ 11:45～	単元のまとめ 1学期の空港見学や飛行機の乗り方修学旅行の思い出の〇〇づくりなど今後の実際生活でも活用できる、生きて働く知識・技能を学習したことを振り返る	時間があれば、自己有力感テストなどアンケート実施。	★①実際生活に即した授業内容であったことを振り返る。 ★②自分で設定した課題をクリアできたことを実感できるようにする。

VI 授業の評価と検証

授業の評価(◎適切 ○やや適切 △改善が必要)

項目	評価	メモ(備考)
題材と研究テーマのかかわりは明確であったか		
本時のねらいの設定は適切であったか		
授業の展開は対象生徒の実態に合っていたか		
教材・教具は適切であったか		
時間配分は適切であったか		
<p>ご意見・お気づきの点がありましたら、ご記入をお願いします。</p>		